

氏 名	杉本久美子
所 属 校 名	柴田学園大学
所 属 学 科	こども発達学科
職 名	教授
学 位	修士（文学）
研 究 分 野 の キ 一 ワ 一 ド	E. M. フォースター、エリザベス・ボウエン

内 容	論文題目及び雑誌、発表演題及び学会名等
著 書 (2020 ~ 2024 年 度)	杉本久美子. 2020. 「〈もの〉は語る一人・家・自然が生み出す詩的でない言葉」『エリザベス・ボウエン 二十世紀の深部をとらえる文学』東京：彩流社、117-132. 杉本久美子. 2023. 「ボウエンが生み出した〈完璧〉なガヴァネス」『エリザベス・ボウエンの短編を読む』東京：国書刊行会、74-90.
論 文 (査読有り雑誌等) (2020 ~ 2024 年 度)	
論 文 (査読なし雑誌等) (2020 ~ 2024 年 度)	
学 会 発 表 (2020 ~ 2024 年 度)	
そ の 他 の 活 動 (2020 ~ 2024 年 度)	エリザベス・ボウエンの『最後の九月』における「時」の描写と効果について 柴田学園大学研究力アップセミナー 柴田学園大学 2022（研修会講師）
著 書 (2019 年 度 以 前)	杉本久美子. 2018. 「ガイドブック『アレクサンドリア』にみるE. M. フォースターの変化と思想の旅路」『旅と文化 英米文学の視点から』東京：音羽書房鶴見書店、128-145. 杉本久美子. 2016. 「光と影の効果から読み解くヒロインの心理 一反転する始まりと終わりの意義についてー」『エリザベス・ボウエンを読む』東京：音羽書房鶴見書店、49-64.
論 文 (査読有り雑誌) (2019 年 度 以 前)	
論 文 (査読なし雑誌) (2019 年 度 以 前)	杉本久美子. 2017. 「『ホテル』におけるホテルとシドニーの多面性」『紀要』第55号（東北女子大学・東北女子短期大学）34-41. 杉本久美子. 2016. 『ハワーズ・エンド』と『最後の九月』の比較からみるフォースターとボウエンの関係性について 『紀要』第54号（東北女子大学・東北女子短期大学）46-52.
学 会 発 表 (2019 年 度 以 前)	オースティンとフォースター、そしてボウエンへ —エリザベス・ボウエンの小説にみるオースティンの影響— 日本オースティン協会第11回大会 2017 —破滅的な過去と着尺な未来—『パリの家』で描かれる囚われた大人たちと明敏な子どもたち 欧米言語文化学会題8回年次大会 2016 「状況小説」として読む <i>Howards End</i> —「文化的対立」と「三代目」を手がかりに 日本大学英文学会9月シンポジウム 2014
そ の 他 の 活 動 (2019 年 度 以 前)	拮抗しあう陰と陽 — <i>The Hotel</i> におけるSydneyの表裏性— エリザベス・ボウエン研究会 2016